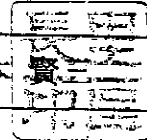


平成14年4月23日

名張市長 様

「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見

蔵持町里区 区長 松本 賢



要望（意見）

私たちの生活している蔵持町里地区は、淀川水系の上流のあたる木津川の上流で宇陀川と名張川合流地点から約2キロ下流の右岸に位置する地区です。

昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめとして、過去幾多の水害に見舞われ、家屋の浸水や農地や道路の冠水など、住民の生活や財産に大きな被害をもたらしてきました。

平成12年10月名張市と公共下水道中央処理区処理場協定締結に際し最大の課題、名張川からの浸水、冠水対策を早急に解決していただくよう切望し協定書を締結しました。

現在、名張川上流の新町や鍛冶町、夏見方面の河川改修が進められていますが、私たちの地域はまだ改修計画は見えてきていません。当地区が名張市に公共下水道中央処理区処理場の協力、防災ステーション設置場所の協力等、地区民の理解と協力があつたからこそと思っています。昨年6月蔵持地区区長会からも、名張川河川改修整備要望書を提出しています。

具体的には、

- (1) 公共下水道中央処理区処理場予定地对岸の土砂の早期撤去、
- (2) シャックリ川と名張川合流地点の川底の掘削、
- (3) 同地点の山掘削により川幅の確保、
- (4) 堤防嵩上げ等、

当地区が協定締結した納期は、公共下水道中央処理区処理場供用開始迄です。浸水や冠水のない安心して生活できる改修、整備をお願い申し上げます。

以上

◇「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

<p>名前 又は 団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)</p>	<p>大屋戸区長 川崎 喜宏</p>
<p>(ご意見・ご提案等)</p> <p>蔵持地区の名張川河川改修については昨年 6 月蔵持地区区長会連名にて要望書を提出。特に大屋戸、松原、夏秋地区では堤防のない箇所もあり一日でも早い築堤が待たれています。</p> <p>この要望書を受けて、木津川上流工事(事)ではこの 3 月まず松原地区地権者に対し、河川改修の説明会が実施され秋より着工との事です。河川改修に伴い河川敷部分を地域住民のみならず市民が広く楽しめる多目的広場として整備頂きたく事務所長宛に三地区連名で要望書を提出したところです。</p> <p>三地区のある左岸は市内でも豊かな自然がそのまま残っている地域でもあります。中でも大屋戸沈水橋から見る風景は素晴らしいものです。</p> <p>現在の夏見橋より下流の護岸工事はただコンクリートで堅く固めたのみで人とのふれあい、自然を生かした改修とはほど遠いものと思われます。</p> <p>大屋戸沈水橋から大屋戸歩道橋を経て多目的広場、夏秋に至る護岸工事では素晴らしい景観と人と水がふれあえる水辺、土の香りがただよう堤を意識した整備をお願いし、子供達が水と戯れ市民が、住民が散策出来る“堤”が実現することを願っています。</p>	

◇「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

名前 又は 団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)	錦生井出区 区長 水谷 健一
<p>(ご意見・ご提案等)</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>貴通知平成14年4月12日付の依頼に対する回答の件</p> <p>本件に関しまして、当方錦生地区まちづくり協議会委員と話し合い確認致しました結論は次の通り御通知致します。</p> <p>当地区での必要事項は当地区より過日提出済みの通りであり、追加事項はありませんので、その通りの御高配の程宜しく御願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">以上 井出区長 水谷 健一</p>	

◇ 「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

<p>名前 又は 団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)</p>	<p>難波新町区自治会々長 井上幸弘</p>
<p>(ご意見・ご提案等)</p>	
<p>昔の名張川は水量が豊富で屋形船が浮かんでいたり、材木輸送のいかだ流しでにぎわったそうである。私たちの幼い時でも水泳、魚釣り、昆虫採集等で、夏休み中、川で明け暮れていたことも懐かしく思いだされる。その反面、度重なる風水害で河川が氾濫し生活が脅かされたりしたのも事実である。</p> <p>現在ではお蔭様で青蓮寺ダムや比奈地ダムが完成いたし、堤防護岸も整備されてまずその心配はなくなったので大変嬉しく思う。しかし、気が付いてみるとダムの放水ごとに河川が荒れて、河川の持つ自然や豊かさ、潤いがなくなってきて単なる巨大な放水路になりつつある。私たち区民は、名張川及び河川敷を昔のように市民が憩い、他自然型の河川敷に戻すため、護岸の斜面や河川道路に草花や低木類の植栽をし、環境整備と美化運動に取り組んでいる。</p> <p>しかし、最近気になる話を聞く。この風光明媚な名張川の河川敷に、土曜、日曜日でさえ全くといっていいほど子供たちの姿が見えない。わけを聞くと学校教育の中でも「川は危ないから大人と一緒になければいけない」とか、「大腸菌の数値が高いから川遊びをしてはいけない」とか、巷でさえ「汚染されているから川魚を食べてはいけない」とか言う風潮が流れているらしい。まことに残念なことである。1日でも早く昔のような名張川に戻したいと思います。</p> <p><b>名張川及び河川敷に対する区民の要望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名張市街地を取り巻く本流の水量を確保してほしい。</li> <li>・ 本流から引込み線の小川を造り、子供たちが安全で、水に親しめる環境を作る。</li> <li>・ 増水期を除いて河川敷を散策できるような小道がほしい。</li> <li>・ できれば工作物の作らない運動公園のような場所ができないか。</li> <li>・ 本流や小川に魚釣りのできる魚礁がほしい。</li> <li>・ ボランティア活動(青少年育成等)で水に親しめるよう河川敷に降りられる車道がほしい。</li> </ul> <p><b>そのために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちは国土交通省や市行政に要望すると同時に、区民として河川敷の掃除や、草刈、設備のメンテナンス等これからもできる限りの協力をしなければならない</li> <li>・ 山の保水力を高める植林や、川の水質汚染を防止する運動等小学生のときから実践を兼ねて学校教育に取り入れていただくとともに、ボランティア精神を発揮して地域ぐるみで川を護る運動を展開しなければならない。</li> <li>・ 河川は名張市の財産、民意を国土交通省に伝達するためにも市民挙げての河川対策の組織を編成しなければならないと思うし、行政もボランティア団体の指導者育成に力を貸してほしい。</li> </ul>	

「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

名前又は団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)	氏名 杉森 正和 (団体名 中村地区)
(ご意見・ご提案等)  私たちの生活している中村地区は、淀川水系の上流にあたる木津川の上流域にある宇陀川の左岸にあります。この地区は昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめとして、過去幾多の水害に見舞われ、家屋の浸水や農地や道路の冠水など、住民の生活や財産に大きな被害をもたらしてきました。 現在、名張川では、新町や鍛冶町または夏見方面での河川改修が行われていますが、私たちの地区では未だ改修が進んでおらず、地域住民は不安な生活を強いられています。このため、私たちの不安を解消し、生命と財産を守るための一刻も早い河川改修をお願いします。  又、宇陀川の支流であります、一級河川の釜石川につきましても、上記と同様の理由で、護岸工事・河床整備も並行して進めて頂くことをお願いします。	

「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見。提案等

三重県名張市松原町区長

緑 憲男

河川と生活は、今日に至っても切り離すことの出来ない係りにあります。

私たち地域では、農業用水として欠かすことの出来ない資源であり地域内に取り込んだ用水は、環境保全機能を保持し、洗濯用水や野菜及び日常生活用具の洗い水として使用しておりました。それ故に我が地域に於いては古く昔に知恵を出し、名張川に井堰を設置して当地域に導水致しておりました。

少し前までは、地域を流れる小川には、シラハエ、フナ、ナマズ、ウナギ、ドジョウ、シジミ等が生息し、毎日目の当たりに眺め、又たまには食卓に並んだものでした。

ところが今ではどうでしょうか、河川改修を優先することなく河川阻害物扱いされ、井堰を撤去さされ期間通水のポンプアップとなった今日では、昔の面影は微塵もありません。

名張川上流には、比奈知ダム、青連寺ダム、室生ダムが完成したにもかかわらず未だに河川氾濫の恐怖に立たされているのはどうしてなのか理解できません。

これらの現象は、ダムの持つ機能の治水、利水の内利水を優先した結果ではないのですか。下流都市の用水確保の為私たちの生活を脅かす結果となっていることは事実であります。ダム建設費相当分を私たち地域の河川改修に使って頂いておったならばもう既に河川改修も完成しており、安心して毎日を暮らすことができると考えております。

いずれに致しましても、私たち地域住民は、水の怖さよりも毎日の生活における水の恩恵の方が大きく影響しておりまして、昔の自然を取り戻したい一念であります。

それには、私たち自らが川をきれいにすることであり、家庭から出る汚染源の抑止に努めなければなりません。それゆえに私たち地域では既に農業集落排水事業も完成いたし供用しております。又農薬の使用についても細心の注意を払っております。

しかしながら、まだまだ名張川はきれいな水とは言えないのではないのでしょうか。仮に昔のようなきれいな水になっても、コンクリート張り河川ではいかがなものかと考えます。

まだまだたくさんの思いがありますが、まとめと致しまして以下に述べさせていただきます。

河川は国民共有のものであることより、自然を残しつつでもどこでも親しめる空間として整備して国民に開放すべきと考えます。

水利権ばかりが常に前面に立ちますが、水の恩恵を国民すべてが享受でき得るよう河川よりの導水を促進し、生活環境向上を図ること。

河川管理者として、河川汚染源の徹底的究明を行い厳しく取り締まること。

河川氾濫による人命保護は、当然の責務と考えますが人命の数で緊急度を定めることなく危険度を尺度としていただきたい。

◇「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

<p>名前 又は 団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)</p>	<p>小屋出区長 代表 中森 達</p>
<p>(ご意見・ご提案等)</p> <p>私達が生活している地区は、淀川水系の上流にある木津川の最上流域、宇陀川の奈良県境に近接する左岸川に隣接して散在している地域です。</p> <p>S34年9月伊勢湾台風襲来時には、床上浸水 etc 沿岸は甚大な被害をこうむり、以来40年代に上流に多目的ダムとして利水・治水を目的とする「宝生ダム」が完成され、洪水からは、守られるとともに、河川流況の安定を図られてきたところであります。</p> <p>しかしながら、近年上流ダムの完成に伴い、30年を経過した今日ダムの滞砂が進行し、下流域には、砂、砂利等が流下しなくなり、河川の粗度に変化をきたし、流速、流況にダム計画前に比して、大きく変化し、岩盤等が露出している現状です。</p> <p>そのため、生態系も変わり、住民の憩の場であった、砂場、釣場も消滅し、粗な河川になりました。</p> <p>今後、河川整備計画策定にあたり、地域住民としての憩の場の確保に努めて戴きたい。</p> <p>さらに、利水面では、農業用水の安定確保を図るとともに、カンガイ期間の変更などの水利用計画の対応をも、お願いします。</p>	